

令和元年度 第1回 苫小牧市文化財保護審議会 会議概要

日 時：令和元年7月5日(金) 14:00 ～ 15:00
会 場：苫小牧市役所第2庁舎 2階南会議室

○出席委員 蓑島会長、蓼沼副会長、阿部委員、一谷委員、坂田委員、白木委員、
松本委員、山岸委員 8名出席 (欠席：揚妻委員、鈴木委員)

○教育委員会(事務局) 教育部 五十嵐教育長、瀬能部長、山口次長
生涯学習課 白川課長、田中主査、斉藤主任主事

-
- 1 委嘱状交付・挨拶 (五十嵐教育長)
 - 2 委員自己紹介
 - 3 会長・副会長の選出
【会長に蓑島委員、副会長に蓼沼委員を選出】
会長・副会長挨拶
 - 4 議 事
 - (1) 平成30年度文化財保護事業の報告について
【事務局から説明】
 - (2) 令和元年度文化財保護事業について
【事務局から説明】

○質疑内容

《静川遺跡の保護木柵交換等》

会 長：苫小牧縄文会との連携はいつまで実施していくのか。

事務局：木柵交換は平成19年度から順次古いものを交換し、昨年度で一通り更新が終了した。今後どういうことができるかは苫小牧縄文会と協議していくが、現時点で連携をやめる考えはない。

《令和元年度予算について》

委 員：委託料として計上している円空作樽前権現像の委託料が他に比べると高いのはなぜか。

事務局：円空作権現像は錦岡樽前山神社の本尊で木造のため持ち運びが容易であることから厳重な管理が必要であり、機械警備を導入している。そのため、他施設より多額になっている。

副会長：文化財保存経費の修繕費について、昨年度は北海道胆振東部地震の影響により、他費目に流用しながらも修繕費は問題なかったと思うが事業内容が変わっていないのに今年度、元の予算額に戻っているのはなぜか。

- 事務局：修繕費に関してはどのような破損が生じるかなど予測が付かないことから、財政当局とも協議したうえで予算確保を行っている。
その年の破損状況によることから予算と決算に乖離が出る年もある。破損が生じた時に早急に対応するための予算措置である。
- 副会長：費目の付け方として、節を越えて流用するのは問題ないのか。
- 事務局：昨年度は倒木の撤去など修繕費では支出できない項目の作業が多く、流用という形になった。どんな作業が出るかは予測が出来ないことから修繕費に計上したうえで対応している。
- 副会長：修繕費が大きく残った場合は吸い上げられてしまうのか。
- 事務局：市は単年度予算であり、支出しなかった予算については不用額として戻し、新年度は改めて事業計画を示したうえで財政当局と協議しながら予算を決定している。
- 副会長：修繕費に余力が出た時に年度途中で他の費目に回していくことはできないのか。
- 事務局：基本的には当初組んでいた内容以外の事業に充てるというのは、緊急的なもの以外は難しい。
- 委員：2020年のウポポイ設置に合わせて、苫小牧の文化財をPRしていくなど対応を検討しているのか。
- 事務局：現時点ではウポポイの方と協議は行っていない。国立の施設でもあるのでどんな連携ができるか美術博物館とも調整しながら検討していきたい。
- 委員：来訪者が何十万人とも言われており、そのうち苫小牧に来訪される方がいると良いなと思うので検討して欲しい。

《文化財紹介パンフレットについて》

- 会長：内容的には良いと思うが、私の経験上PDF等でネット上にもアップした方が利用しやすいと思うのでお願いしたい。
- 事務局：完成後にはアップしていきたい。
- 副会長：このパンフレットの作成は文化財に興味を持ってもらい、その後「とまこまいの文化財」につなげていきたいという趣旨だと思うが、そちらもネット上にアップすることは可能か。
- 事務局：すべての情報をアップできるかは容量の問題もあるので今はわからないが、掲載自体は可能であると考えます。
- 副会長：「とまこまいの文化財」につなげていくためにも、今回作成するパンフレットにQRコードを付けて、冊子を見ることが出来る対応など検討できないか。
- 事務局：検討する。

(3) その他

【事務局から説明】

○質疑内容

《全体を通じて》

委員：林重右衛門墓碑の横のサイロが崩れていっているが、サイロは文化財の対象外なのか。

事務局：あのサイロは戦争遺跡という分類をしている。戦争遺跡に関しては残すべき、残すべきではないなど様々な意見がある。そのため現状では文化財の位置付けは行っていない。美術博物館とも連携して考えていきたい。

委員：アイヌの丸木舟も勇払越えの歴史など物語がある。船だけでなく歴史を残すという考え方も持つべきではないか。

また、勇払三角測量基点も重要なものでもう一つの基点であるむかわ基点の発見にも協力すべきではないか。

事務局：丸木舟に関しては美術博物館に保管してあるが、発見された場所も標柱がわかりにくいという指摘もある。また、札幌方面へ抜ける交通路となっていたことも歴史的に残っており、今後どのように伝えていくのが良いか美術博物館とも調整し検討していきたい。むかわ基点に関して勇払基点が発見された時の資料を提供するなど全く協力していない訳ではないが、難しさもある。今後、どういう協力出来るのか学芸員とも相談していきたい。

委員：保護という部分も大事だが歴史をつなげていくということも大事。子供達を対象に文化財を学ぶ機会を設けてはどうか。例えば、文化財をモチーフにした絵画コンクールや文化財をテーマにした自由研究など子供達自身が興味を持って文化財を学べる機会を創出して欲しい。

会長：具体的なアイデアがあればぜひ挙げて欲しい。

事務局：検討できるものは積極的に検討する。

5 その他

【事務局から説明】

会長：全体で何もなければこれで閉会したいと思います。皆さんお疲れ様でした。

15:00 閉会